

第35回議会力向上会議記録（抄）

（30. 8. 17）

一、協議事項について

正副座長より、次の事項に関し意見聴取を行い、協議の結果、下記のとおりとなった。

（別紙各資料参照）

1. 今年度の協議項目及び年間スケジュールについて（資料1 参照）

前回会議を踏まえ、修正した年間スケジュール（案）について、各会派等の意向を聴取した。

【修正内容】

堺市議会業務継続計画（BCP）に係る議員対応マニュアル策定の審議期間の延長

【理由】

ワーキンググループを設置して協議・策定するため

【協議結果】

正副座長修正案を了承し、進行していくこととした。

なお、札幌議員より前回会議での発言（議員の処遇を政務活動費運用指針の見直しに含めて検討されたいとの発言）を取り下げ、議員報酬に係る議論について対象会議である議会運営委員会の場で、会派より説明するとの発言があった。

2. 議会報告会について（資料2 参照）

前回会議で11月17日（土）13時から高校生等を対象として開催することが合意された議会報告会について、各会派等から提出された具体的な開催方法（案）に沿って、協議を行った。

【各会派等より出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	(対象者) ○11月は、受験を控えた高校3年生には参加が難しい時期ではないか、大学生も対象としてはどうか。 (第1部議会報告) ○高校生に市の決算の現状を知ってほしいという考えから議会報告の内容を「平成29年度決算の概要」としたが、他会派等の意見等を踏まえ、合意できる内容であれば取り下げる。 (第2部議員との懇談) ○1テーブルごとの議員数は1人とし、1人で進行、質問への回答、記録等を行うものであり、議員の資質向上につながる。
公明党 堺市議団	(開催会場) ○「地下1階食堂」を「委員会室」に修正する。 (第1部議会報告) ○「10分程度」を「20分程度」に修正する。 ○議会報告を聞くことで、高校生に議会がどんな活動をしているのか知ってほしい。また高校生による市政提案では、議場の雰囲気体を

	<p>験しながら、高校生が堺市の未来に求めるものなどを述べてもらいたい。参加者全員が市政提案を行えば時間が足りないので、学校単位でまとめて市政提案をしてもらえればよいと考える。参加する学校数にこだわりはない。</p> <p>(第2部議員との懇談)</p> <p>○テーブル数は正副座長案の12テーブルでよい。</p> <p>○1テーブルごとの議員数は正副座長案のとおり2名でよい。また最後に高校生に感想等を発表してもらってはどうか。</p>
ソレイユ堺	<p>(対象者)</p> <p>○市内の高校へ周知するとともに、市内在住で市外の高校へ通う学生には広報さかいで周知すればよい。</p> <p>(第1部議会報告)</p> <p>○参加対象が高校生であっても市民に違いはないので、高校生なりの視点、考えを聞き、意見交換する場であれば堺市議会基本条例第22条に規定する議会報告会の定義に沿うものとする。</p> <p>○18歳までの医療費助成など、高校生に身近な施策の話をした方が興味・関心を持ちやすいのではないかと。</p> <p>(第2部議員との懇談)</p> <p>○高校生が議員とフラットな立場で気軽に話せる、しっかりとしたワールドカフェ方式で行い、出された意見を付箋に書き、模造紙に貼っていくなど、細かい工夫が大事である。</p>
日本共産党堺市議会議員団	<p>(第1部議会報告)</p> <p>○正副座長案に異議はないが、今後、一般市民を対象とした議会報告会の開催について検討していく必要がある。</p>
長谷川俊英議員	<p>(対象者)</p> <p>○高校生を参加対象とすることに反対ではないが、本報告会とは別に、一般市民を対象にした議会報告会を開催すべき。</p> <p>(第1部議会報告)</p> <p>○正副座長案、各党派提案の開催案は堺市議会基本条例第22条に規定する議会報告会の定義に沿っているのか。</p>

【協議結果】

各党派等から出された意見等を踏まえ、正副座長案を修正し、議会力向上会議構成議員の意見等を最終調整した上で、議会運営委員会において決定することとした。

3. 第36回及び第37回議会力向上会議の開催日時について

次回(第36回)を平成30年10月11日(木)14時に、次々回(第37回)を平成30年10月22日(月)14時から開催することとした。